

年 度	2022 年度		
科 目	電子回路応用 I		
担 当	松尾 雅純	使用教室	32 教室
実務経験	松下電器産業(株)(現パナソニック)にてガス機器商品の物作りを 30 年間、営業所(O B P にて)で 8 年間、営業窓口、販売計画と促進業務を担当する。		
種 別	▽前期 ・ 後期 ・ 通年		
到達目標	自らのアイデアと工夫を行い自分好みの電気製品を作り上げる。自分で設計するもよし、参考書等を活用し自由に製品を作り上げて自作の楽しみ、喜びを感じ取る。		
資格実施月	無し		
評価方法	定期考査(各期の中間、期末)の成績(70%)と平常点(出席状況、授業態度等)30%の合計点		
教科書等	電気工作の職人技 (高瀬和則著)		
授業計画	<p>電気回路図を見て、その機能、構造を理解してそれを一つの「物」として各部品を組み合わせて商品化させる。オリジナリティの有る物作りで完成の喜びを体験させる。</p> <p>1. 第 1 週から第 2 週 (4/13~4/20) 学科「電気の基本」を学習しながら半年間で何を作り上げたいかの目標値の設定と関係資料を参考にアイデアを図面化する。(3 日間)</p> <p>2. 第 2 週から第 5 週 (4/22~5/11) 電気部品の種類とその機能働きや、図面記号を理解させる。(4 日間)</p> <p>3. 第 5 週から第 7 週 (5/13~5/25) 自分が作りたい商品の決定。(前期は技術資料の物まね) 必要品の選定と調達、各種部品の価格相場の調査。 日本橋電気街へ部品調達の為、全員で買いに行く。(4 日間)</p> <p>4. 第 7 週から第 13 週 (5/27~7/8) 回路図に従って、工具、半田ゴテを使用して作品を作り上げる。(13 日間)</p> <p>5. 第 14 週~第 15 週 (7/13~7/22) 完成した段階でその機能、性能を確認させる。(4 日間)</p> <p>6. 第 16 週~第 18 週 (8/31~9/6) 上手く作動しない場合はその原因を追及して修復させ完成に至る。(6 日間)</p>		

授業計画	
------	--